

V 業務の概況

1 看護

山形県立こころの医療センター 看護部理念

私たちは患者さんに寄り添い、自己決定を支える看護を提供し、
地域社会でその人らしく生活できるように支援します。

看護部基本方針

- 1 私たちは、常に患者さんの生命・尊厳・人権を尊重します。
- 2 ぬくもりのある優しい看護を提供します。
- 3 医療チームの一員として関連機関と連携し、地域で安心して生活できるように支援します。
- 4 専門職として積極的に自己啓発をおこない、質の高い看護を提供します。
- 5 健全な病院経営に参画します。

(1) 病棟別病床数・看護体制

令和3年4月1日現在

	病床数 (床)	定 数 (人)	看護職員数(人)			夜勤体制(人)	
			看護師	准看護師	計	準夜勤	深夜勤
西1病棟(子ども)	15	25	27(9)		27(9)	3	3
西1病棟(ストレスケア)	33						
東2病棟(スーパー救急)	48	26	26(9)		26(9)	3	3
西2病棟(社会復帰)	50	18	19(8)		19(8)	2	2
東3病棟(慢性期)	50	25	27(11)		27(11)	3	3
西3病棟(医療観察)	17	25	25(9)		25(9)	3	3
外来・中央材料室		6	6		6		
訪問看護科		4	4		4		
デイケア		1	1		1		
医療安全管理室		1	1		1		
看護部長室		2	2		2		
計	213	133	138(46)		138(46)		

注：() は男性再掲。

(2) 看護の状況

病棟	看護の状況
西1病棟 (子ども ユニット)	児童思春期外来に通院し、入院治療が必要とされた小・中学生を対象としたユニットです。対象となる主な疾患・障がいは、統合失調症、不登校、強迫性障害、身体表現性障害などです。精神療法、薬物療法を中心に多職種による治療プログラムをそれぞれの児童に合わせ提供しています。入院治療では症状の改善を図るだけでなく、子どもが持つ「回復する力、成長する力」を大切に、様々な人間関係の中で子どもの成長を支えます。また、山形県立鶴岡養護学校の分教室となる「おひさま分教室」が併設されており、学習のサポートをしています。
西1病棟 (ADLケア ユニット)	主に気分障害・神経症性障害などのストレス関連疾患が対象です。 ユニットの特徴として、4床室のほか2タイプの差額ベッドを備え、心身ともにリラックスできる休息環境を提供し、多職種での疾患教育を行いながら症状の安定と早期退院を目指しています。
東2病棟	「精神科救急入院料1」算定病棟（スーパー救急病棟）で重症な急性期症状を呈する患者さんへ集中的に治療を行う病棟です。急性期クリニカルパスを運用し、医師・看護師・精神保健福祉士・臨床心理士・作業療法士・栄養管理士など専門のスタッフが一人ひとりの患者さんの症状やニーズに応じたチーム医療を提供し、3か月以内の退院を目指しています。退院後の社会復帰をスムーズに行うために、地域連携カンファレンスや心理教育、各種作業療法、家族教室などを実施しています。職員一同、常に倫理観を高く持ち、安全で個々の患者さんに寄り添う看護サービスの提供を実践しています。
西2病棟	社会復帰の男女混合病棟として、スムーズに社会生活へ移行できるよう社会復帰の促進を目標にしています。患者さんやご家族に加え、市町村の福祉担当等多くの関係機関と話し合いを行い、作業療法や退院前訪問を実施しながら、自立した生活が送れるよう支援しています。退院支援プログラムも行っており、よりその人に合った支援を検討し、患者さん中心の看護の提供に努めています。
東3病棟	慢性期閉鎖病棟として、長期入院患者のADL低下の防止とQOLの向上に努めています。更にスーパー救急病棟の後方支援としての役割も担っており、合同カンファレンスや長期入院患者退院支援会議、強度行動障害支援会議を定期的に開催しながら、自立支援や社会復帰に向けた働きかけを行っています。
西3病棟	心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察に関する法律（医療観察法）のもと、心神喪失又は心神耗弱の状態（精神障害のために善悪の区別がつかないなど、刑事責任を問えない状態）で、重大な他害行為（殺人、放火、強盗、強姦、強制わいせつ、傷害）を行った人に対して、手厚い専門的な医療を提供しています。裁判所、厚生労働省地方厚生局、保護観察所、帰住地の地域関係機関と連携・調整をしながら重大な他害行為の再発防止と社会復帰を促進しています。

(3) 病棟レクリエーション実施状況（令和2年4月～令和3年3月）

病棟	内 容	回 数	患者数	職員数
西1病棟	七夕、ハロウィン、クリスマス会、バレンタイン、夏祭り、正月レク	8回	59人	44人
西2病棟	うちわ作り、クリスマス会、かるたとり	3回	85人	21人
東3病棟	すいか割り、運動会、かるた大会、バレンタイン	5回	110人	27人
西3病棟	観桜会、夏祭り、クリスマス会	3回	43人	28人
計		19回	297人	120人

(4) 院外他科受診状況 (令和2年4月～令和3年3月)

(人)

診療科		西1	東2	西2	東3	西3	計
内科受診者数		11	27	23	21	1	83
外科(脳外含む)		1	11	1	2		15
整形外科		5	20	15	1		41
皮膚科		5	6		1		12
泌尿器科			1	14	4		19
耳鼻科		21	4	3	1		29
眼科		2	14		2	1	19
歯科		5		12			17
小児科		8	1				9
その他		6	10	3	5	2	26
計	受診者数	64	94	71	37	4	270
	付添職員数	1	5	32	2	9	49

(5) 認定看護師・精神科認定看護師

スタッフと連携しながら、質の高い看護を目指し日々活動している。院内活動としては、患者さんへの直接的な援助・ケースカンファレンスへの参加及びスタッフへのアドバイスなどを行い、院外においては職能団体での研修会講師、地域からの依頼を受けたメンタルヘルスや認知症等をテーマにした住民向け学習会の講師などの活動を行っています。

●日本看護協会

(令和3年4月1日現在)

認定看護管理者	2名
精神看護専門看護師	1名
皮膚・排泄ケア認定看護師	1名
認知症看護認定看護師	1名
摂食嚥下障害看護認定看護師	1名
感染管理認定看護師	1名

●日本精神科看護協会

(令和3年4月1日現在)

精神科認定看護師(8名)	
うつ病看護(領域)	1名
精神科訪問看護(領域)	1名
行動制限最小化看護(領域)	1名
児童・思春期精神科看護(領域)	1名
精神科薬物療法看護(領域)	1名
精神科身体合併症看護(領域)	1名
精神科認定看護師	2名

(6) 各種事業受け入れ

認定看護師や臨地実習指導者研修修了者14名が担当し、様々な事業の受け入れを行っています。

令和2年度実績

○講師派遣

鶴岡市立 荘内看護専門学校	2名
酒田市立 酒田看護専門学校	2名
鶴岡地区医師会 鶴岡准看護学院	2名

(7) 口腔ケア

院内の栄養サポート委員会メンバーが中心となり、各病棟で患者さんの口腔内のアセスメントを行い、状態に応じた指導やケアに取り組んでいます。また、多職種による栄養サポートチームがラウンドを行い、口腔ケアを含めた栄養管理を行っています。

2 訪問看護

訪問看護では、御家族や関係する施設職員、主治医など他職種と連携を図りながら、地域で安定して生活を送れるよう支援しています。

入院中から顔つなぎ面会を行い、退院後には安心して訪問看護を受け入れてもらえるよう努めています。訪問の際には、服薬確認、体温・血圧測定、身体的・精神的状態の把握、適時相談等の他、御家族からも話を伺い、患者さん中心の看護の提供に努めています。看護師、精神保健福祉士、作業療法士のスタッフが二人一組で訪問を実施しています。

訪問看護実施件数						(件)
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実施件数	2, 595	2, 856	3, 165	3, 260	3, 070	2, 778

3 作 業 療 法

(1) 沿革

昭和 27 年の開設当初より、養豚、養鶏、農耕等の作業を行ってきたが、その後養豚、養鶏は廃止され、昭和 34 年に作業療法棟が新築されると、紙袋貼り、木箱作り等の室内作業も並行して行われるようになりました。昭和 54 年からは作業療法士の配置に伴い、作業療法の診療報酬の点数化が図られ、昭和 55 年に体育館併設の「生活療法センター」が完成し、積極的な作業療法の推進を図ってきました。

昭和 60 年以降、外来患者にも作業療法の適応を進めてきましたが、平成 2 年 9 月に精神科デイケアが併設型として認可され、外来作業療法は休止とされました。現在、外来作業療法は数回の見直し、休止を経て一部心理教育のみを対象として実施しています。こころの医療センターへ新築移転した平成 27 年 3 月からは、病棟機能に合わせてさらに個別ニーズへの対応と多職種連携を強化しながら、作業療法を展開しています。

(2) スタッフ

作業療法士 5 名（医療観察法病棟担当作業療法士 1 名を含む）

(3) 作業療法内容

病棟内 OT…脳トレ、輪投げ、ターゲットプレイ、マジックナイン等
各種運動…スポーツ、ウォーキング、ストレッチ、ジム内での各種マシンを
使った運動、外部講師によるヨガ、健康体操等
心理教育…統合失調症患者、気分障害患者向け各心理教育

（心理教育は多職種連携で運営）

レクリエーション…東 2 病棟以外の病棟で看護師と連携して実施

そ の 他…転倒、転落、認知症予防等を目的として、看護部と連携しての「ふまねっと」も定期的に病棟内で実施。

○子どもユニットで実施される作業療法

こどもミーティングでの隔週のスポーツ、週 1 回の作業療法を実施。他にスマイル教室、アンガーマネジメントも多職種で連携し実施している。

○医療観察法病棟で実施される作業療法

MDT 会議で決定された計画に基づき、対象者に合わせて、パラレル OT、個別 OT、各種運動、心理教育等を行っています

(4) 作業療法実績（医療観察法病棟は除く）

（人）

	H27	H28	H29	H30	R1	R2
延べ実施人数	6, 296	8, 007	7, 743	9, 397	9, 760	9, 777
1 日平均実施人数	26	33	32	38	41	40

4 デ イ ケ ア

(1) 沿革

通院リハビリテーションの一環として、平成2年9月に精神科デイケアが承認され週4日の施行から開始し、平成12年6月からは週5日に拡大されました。平成18年にはショートケアも承認され現在に至っています。

平成26年には通院リハビリテーションを推進していくにあたり、外来作業療法利用者のショートケア移行をはかり、多職種での支援ができる体制にしました。

現在では、思春期から高齢者までの年齢層を対象としており、就学、就労（障がい者雇用、一般雇用）、就労継続支援事業（A・B型）への移行支援から現在の症状、能力維持・向上を主な目的とした幅広い支援を実施しています。

(2) スタッフ

医師1名、作業療法士2名、看護師1名、公認心理師1名

(3) 内 容

①実施日時：月～金（週5日）土曜・日曜・祝日を除く。午前9時～午後3時

②プログラム

クローズプログラム

女子力向上委員会、Men's Day、もみじ倶楽部、わかば倶楽部

オープンプログラム

- ・心理教育：認定看護師学習会、公認心理師学習会、管理栄養士学習会、『こころの元気+』を読む会
- ・認知・集中力を高める：創作活動、集団脳トレ、個別脳トレ、塗り絵、PCソフトゲーム
- ・健康維持目的：ウォーキング、筋トレ、ストレッチ、Wii Fit、ヨガ、太極舞、ラジオ体操、卓球、バドミントン 等
- ・リラクゼーション目的：趣味的な活動、アロマ、カラオケ、季節行事
- ・その他：買い物支援、社会資源体験、こころの医療センターフェスティバル等

(4) デイケア実績

令和3年3月末登録者数 84名（男性 32名、女性 52名）

		H27	H28	H29	H30	R1	R2
実施人数	デ イ ケ ア	4,816人	5,272人	5,455人	5,123人	4,270人	2,874人
	ショートケア	757人	1,541人	1,749人	2,085人	1,962人	1,273人
	計	5,573人	6,813人	7,204人	7,208人	6,232人	4,147人
実 施 日 数		239日	243日	243日	244日	240日	187日
一日平均 実施人数	デ イ ケ ア	20人	21人	22人	20人	17人	15人
	ショートケア	3人	6人	7人	8人	8人	7人

5 地域連携科

地域連携科は、入院や退院促進の医療に係ること、また、就労・各種福祉制度サービス等の生活に関わることなどあらゆる相談を受け、院内各部門及び院外の医療・保健・福祉・教育の各関係機関と連携を図りながら、患者様が長く安定して地域での生活を送れるよう支援します。

入院病棟では、患者様等の退院支援や相談支援を各部門スタッフや地域連携機関と連携、調整しながら対応しています。ケースカンファレンス、退院前訪問、外出同行、治療プログラム、院外ケア会議への参加などを通して、医療・保健・福祉の各関係機関との連携を図ります。

児童思春期病棟でも、入院中及び退院後の生活に関する相談、利用できる制度やサービスの紹介をし、院内学級、前籍校等との連携、調整を図りながら支援をしています。

医療観察法病棟では、裁判所の決定を受けて入院となり、担当多職種チーム（MD Tチーム）が患者様の他害行為の再発防止と社会復帰に向けて業務に当たります。退院後の希望確認、治療プログラム、保護観察所等の地域関係機関との連携、調整、家族支援、各種会議の調整・進行、対象者の外出や外泊にも同行し、退院後の生活環境や医療環境等も患者様と確認、調整します。

(1) 個別援助状況（令和2年4月～令和3年3月）

(件)

場 面			援助件数				
			外 来	入 院	退院後	その他	計
新規	紹介者	① 紹介者なし（本人）	118	189	3	391	701
		② 家族	139	230	6	728	1,103
		③ 医師	102	52	2	30	186
		④ 看護師	76	28	2	10	116
		⑤ MSW	9	0	0	16	25
		⑥ その他院内職員	17	82	3	26	128
		⑦ 関係機関	427	448	126	672	1,673
		⑧ その他	17	20	5	26	68
	計		905	1,049	147	1,899	4,000
継 続		1,948	8,432	118	1,003	11,501	
合 計		2,853	9,481	265	2,902	15,501	
援助内容別内訳	病院利用 A		277	366	57	2,492	3,192
	療養上 B		1,144	1,752	30	137	3,063
	家族関係 C		60	297	2	10	369
	社会復帰 D		560	5,357	54	30	6,001
	経済上 E		414	1,295	66	84	1,859
	その他 F		398	414	56	149	1,017
	計		2,853	9,481	265	2,902	15,501
援助手段別内訳	面接 あ		480	3,936	11	112	4,539
	訪問 い		44	261	5	2	312
	電話 う		1,897	3,456	209	2,223	7,785
	文書 え		233	315	12	237	797
	調査調整 お		160	1,060	18	162	1,400
	その他 か		39	453	10	166	668
	計		2,853	9,481	265	2,902	15,501

(2) 個別援助以外の業務状況 (令和2年4月～令和3年3月)

項 目	従事回数
グループワーク、デイケア、ナイトホスピタル等	863
カンファレンス（うち、外部機関参加カンファレンス）	1,591
新規に地域サービス（障害、介護サービス等）につながった件数	6
会議、講義等	164
地域活動（SC、患者会、家族会等）	1
調査研究活動	34
その他	127

(3) 長期入院患者（5年超）の退院状況 (毎年1月～12月) (人)

	H28	H29	H30	R1	R2
長期入院患者数	24	21	19	16	16
うち退院患者数※	2	1	1	1	1

※自宅等に退院した患者で3か月以内に再入院した患者を除く

6 検査科

臨床検査：血液、尿等を分析する検体検査や心電図、脳波等の生理機能検査及び外注委託検査に関する業務を行っています。安全・正確・迅速な検査及び患者の状況に応じた検査を提供できるように努めています。

放射線検査：X線撮影及び全身CT装置による検査を行っています。日本海総合病院による読影が実施され、院内配信を行っています。良質な医療を心がけ、医療被ばく低減に努めています。

(1) 臨床検査件数（令和2年度の状況）

件)

区 分	入 院	外 来	職員検診	合 計
一 般 検 査	475	15	126	616
血 清 検 査	2,277	542	140	2,959
生 化 学 検 査	22,223	18,816	8	41,047
薬 物 検 査	616	585	0	1,201
脳 波 検 査	60	30	0	90
心 電 図 検 査	516	59	0	575
終夜睡眠 ポリグラフ検査	0	3	0	3
血 液 検 査	4,104	3,308	0	7,412
合 計	30,271	23,358	274	53,903
委 託 検 査	660	1,322	-	1,982

(2) 臨床検査件数

(件)

年度		H27	H28	H29	H30	R1	R2
区分							
院 内 検 査	一 般 検 査	1,235	842	691	731	687	616
	血 清 検 査	2,989	2,665	2,866	3,482	3,215	2,959
	生 化 学 検 査	43,284	41,332	44,765	54,475	49,774	41,047
	薬 物 検 査	1,173	1,269	1,750	1,937	1,701	1,201
	脳 波 検 査	111	118	110	106	121	90
	心 電 図 検 査	601	565	567	684	669	575
	終夜睡眠 ポリグラフ検査	—	—	—	5	11	3
	血 液 検 査	5,280	4,693	5,839	6,662	7,845	7,412
	合 計	54,673	51,484	56,588	68,082	64,023	53,903
委 託 検 査		1,173	1,240	1,522	2,587	2,936	1,982

(3) 放射線検査件数

(件)

年度 区分		H27	H28	H29	H30	R1	R2
一般 撮影	入 院	615	617	592	764	739	652
	外 来	73	25	25	36	44	34
	合 計	688	642	617	800	783	686
C T	入 院	159	182	166	266	213	165
	外 来	145	146	143	180	165	176
	合 計	304	328	309	446	378	341

7 臨床心理科

臨床心理科では、患者さんの生きづらさに寄り添い一緒に考えることで、こころのバランスを整え、自分らしく生きるためのサポートを行えるよう努めています。

心理検査等の実施によって、心理学的な視点から現在の状態や特徴を見立て、どのように改善していけるかを患者さんと一緒に考え、また、臨床心理面接を通して、自分らしく生きるための道と一緒に探していくことを目指しています。

○臨床心理科業務件数（令和2年度実績）

①心理検査

（件）

	外 来 (一般・児童思春期)	入 院 (全病棟)
知 能 検 査	132	22
人 格 検 査	27	14
その他の心理検査	197	6

②心理療法

（件）

	外 来	入 院		
		急性期病棟 慢性期病棟 社会復帰病棟 ストレスケアユニット	こども ユニット	医療観察 法 病 棟
個 人 面 接	1,336	161	121	553
集団プログラム	0	9	108	22
児童思春期インテーク	113	0	0	0
カンファレンス(含他職種)	5	32	188	316

※注釈

個 人 面 接： 患者や家族の相談に対して、臨床心理士が行う面接

集団プログラム： 数人のグループで怒りの扱い方やストレスマネジメント、社会的技能の獲得を目的として行う心理教育

インテーク： 児童思春期外来受診の際、診察前の情報収集のための面接

カンファレンス： 患者の今後の方針等を関係者が集まって話し合う会議

8 薬剤科

(1) 調剤業務

調剤過誤防止のため、業務手順書に従いクロスチェックによる確認を行っています。

また薬剤は原則一包化調剤を行い、誤投与防止とコンプライアンス向上に寄与します。

処方状況

年度 区分		H28	H29	H30	R1	R2
入院	処方箋枚数	13,608	15,007	17,018	17,086	17,131
	調剤数	34,065	37,433	41,484	42,481	43,917
	延日数	334,073	349,380	370,983	393,700	417,442
外来	処方箋枚数	2,861	2,693	2,816	2,749	2,201
	調剤数	9,161	10,455	10,865	11,147	9,862
	延日数	201,166	209,420	210,280	221,832	178,547
合計	処方箋枚数	16,469	17,700	19,834	19,835	19,332
	調剤数	43,226	47,888	52,349	53,628	53,779
	延日数	535,239	558,800	581,263	615,532	595,989
院外処方箋枚数		22,144	21,390	24,391	25,302	25,273

(2) 注射調剤業務

注射薬は用法、用量、投与方法、デポ剤の投与間隔、配合変化・併用禁忌の有無などをチェックし、患者さん毎に取り揃え供給しています。

(件)

年度	H28	H29	H30	R1	R2
注射調剤件数	2,743	2,689	2,835	3,101	3,361

(3) 薬剤管理指導業務

入院患者さんを対象に薬剤師が、薬歴や検査値等を確認し、処方薬の投与量、投与方法、相互作用、重複投与、配合変化・配合禁忌などの薬学的管理と、治療薬に関する説明・指導を通じて、薬物療法における患者様のアドヒアランスの向上に貢献します。

(件)

年度	H28	H29	H30	R1	R2
薬剤管理指導件数	160	257	344	356	393

9 栄養管理科

病棟担当管理栄養士が多職種と連携しながら栄養管理の充実を図っている。

また、すべての食種を対象に行事食や毎月「お楽しみ膳」を提供するなど、給食サービスの向上に取り組んでいる。

(1) 食数の状況：過去3年間の状況

区分 \ 年度		H30	R1	R2	
一般食	常食	101,308	106,207	105,237	68.6%
	軟食	32,581	34,313	38,653	
	流動食	0	0	0	
	小児食	4,318	3,668	5,487	
	その他	1,441	1,095	381	
(一般食計)		139,648	145,283	149,758	
加算特別食	エネルギーコントロール食	39,721	35,598	35,858	19.7%
	塩分コントロール食	3,287	5,832	4,873	
	蛋白コントロール食	3,115	2,682	895	
	貧血食	284	724	283	
	その他	91	822	1,863	
(加算特別食計)		46,491	45,658	43,772	
特別加算食	塩分コントロール食(高血圧食)	5,286	3,727	4,083	11.7%
	経管栄養	863	110	601	
	嚥下訓練・嚥下調整食	17,410	14,791	21,377	
	その他	1,276	889	0	
(非加算特別食計)		24,835	19,517	26,061	
入院患者食計		210,974	210,458	219,591	100.0%
デイケア食		5,100	4,265	2,867	
合計		216,074	214,723	222,458	

(2) 月のお楽しみ膳

4月 アジアン屋台弁当	10月 旬を味わう！庄内地産地消弁当
5月 森のめぐみ弁当	11月 まるごと山形弁当
6月 初夏のあじさい膳	12月 院長おすすめ食材第4弾腸活で免疫力アップ!!弁当
7月 魅惑のトルコ料理弁当	1月 華麗なるカレー御膳
8月 懐かしの!?運動会弁当	2月 北海道どさんこ海鮮丼膳
9月 ジャン！醬！いいじゃん！香港弁当	3月 福よ！こいこい ふくしま弁当

(3) 栄養指導件数

区分 \ 年度		H30	R1	R2
外来	加算(件数)	114	99	98
	非加算(件数)	14	19	9
入院	加算(件数)	12	19	11
	非加算(件数)	4	4	2
集団(回数)		18	17	17

10 医療安全管理室

医療安全管理室は、当院をご利用いただいている患者さん・ご家族の方々に、より安全でより安心な医療を受けていただくため、病院の安全体制の整備、医療安全に係る研修の企画や運営、及び各部門との調整に従事し、日々の医療安全に努めている。

(1) 主な医療安全管理活動

- 1) 医療安全管理対策の検討及び研究に関すること
- 2) 医療事故及びヒヤリ・ハット等事案の原因分析、再発防止策の作成及びその実施に関すること
- 3) 医療安全管理のための職員に対する指示に関すること
- 4) 医療安全管理のための職員研修、広報に関すること
- 5) 医療事故への対応に関すること
- 6) 医療訴訟に関すること
- 7) その他、医療安全管理対策に関すること

<活動状況>

委員会開催 状況	医療安全管理委員会		12 回
	医療事故防止対策委員会		35 回
全体研修会 開催	第 1 回 Web 研修	「医療機関におけるコミュニケーション」について	173 名受講
	第 2 回 集合 + Web 研修	1 部「コロナ禍の対応について」 2 部「ビバンセカプセルの取り扱いについて」	1 部当日 20 名参加 1 部伝達 + 2 部 DVD 視聴 193 名)

(2) 医療事故、ヒヤリ・ハット等の収集状況

令和 2 年度は、ヒヤリ・ハット報告が全報告件数の 35%にとどまったが、安全に係る気づきを大切にして、リスクが予見される事例については予防対策を立案している。さらに委員会ではアクシデント事例についてレベル（損害程度）の判定を行い、再発防止対策についてさらに検討し結果を全部門に公表、事例を共有することで院内全体における医療安全活動を推進している。

<ヒヤリハット・医療事故報告件数の推移>

(件)

区分 \ 年度	H29	H30	R1	R2
レベル 0	718 件	478 件	471 件	402 件
レベル 1～3 a	752 件	763 件	793 件	728 件
レベル 3 b 以上	5 件	6 件	6 件	10 件